

盲導犬応援プロジェクトとは



はじめのこたば

お手伝いしましょうか？

盲導犬ユーザーへのお手伝いの方法

~~~~~



応援サンキューだよ！

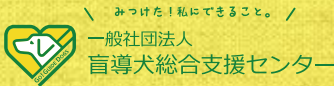


盲導犬総合支援センター  
公式キャラクター  
もうどう犬 エルクン

盲導犬応援プロジェクト 検索

~~~~~

盲導犬応援プロジェクトへのお問い合わせ先



〒224-0037 横浜市中区茅ヶ崎南5-2-22-2F
TEL:045-949-0323 FAX:045-949-0327
www.goguidedogs.jp

監修：公益財団法人日本盲導犬協会

このパンフレットは、株式会社 ジョイフル本田の協力のもと作成されました。

~~~~~



イラスト・デザイン：セツサチアキ

盲導犬ユーザーに聞きました



盲導犬ユーザー 磯谷さんと盲導犬スフレ

どんな時に声をかけてくれて嬉しかったですか？

~~~~~



道に迷っていた時



私たち盲導犬ユーザーは頭の中に描く地図を頼りに目的地へ向かうんです。盲導犬が道案内してくれるわけでは、ないんですよ。でも曲がる角を間違えたり工事等で普段とは状況が変わっていると道に迷ってしまいます。私たちは、周囲に人がいるのかどうかかわりづらいので、皆さんから声をかけていただけると、本当にホッとします。

信号待ちをしていた時



盲導犬は、信号の判断ができません。盲導犬ユーザー自身で、車が止まる音を耳で確認しながら、歩き出す指示を盲導犬に出しているんです。でも本当に青信号なのか、また信号が点滅しているのかの確信ができませんので、お手伝いの声をかけていただけると「今、青信号ですか？」って聞くことができます。

お店に入った時



スーパーや百貨店に行くとお店のスタッフの方が私たちのお買い物の介助をしてくれます。でも、広い店内で手が空いているスタッフの方を探すのは、私たち盲導犬ユーザーにとって難しいことです。そんな時に皆さんがお手伝いの声をかけていただけると、スタッフの方がいる場所までの案内をお願いできるので、とても助かります。

駅やバス停にいる時



例えば、ホームや車内の混み具合とか、バス停で並ぶ時の方向とか、空いている座席があるのかとか。視覚に障がいがあると、こんな風に耳だけでは判断できない状況がたくさんあります。だからこそお手伝いの声をかけていただけると、周囲のちょっとした状況を聞くことができるので、安心して外出を楽しめます。

お手伝いのはじまりからお別れまでの様子をのぞいてみましょう！

Start

声かけのはじめの1歩！

「お手伝いしましょうか？」



皆さんにお願いです。

盲導犬ユーザーを見かけた時は、「お手伝いが必要な？」という気持ちを持って、見守ってください。そして「あれ？」と思ったら、ぜひ「お手伝いしましょうか？」の声をかけをお願いします。声をかける相手は、盲導犬ではなく盲導犬ユーザー。その一言から、安心と安全につながるコミュニケーションを始めましょう。

この一言からはじめてね



Step1

おぼえておこう！ 声かけのポイント



大事なポイントだよ



雑踏の中や、少し距離が離れていたりすると、盲導犬ユーザーは自分に声をかけられていることに気づかない場合があります。盲導犬ユーザーに「お手伝いの声かけを気づいてもらうために、3つのポイント」を参考にして、声かけをお願いします。

①盲導犬ユーザーの前に立って、声をかけましょう。

※真後ろ等、盲導犬ユーザーが体の向きを変える方向から声をかけると、進行方向が分からなくなってしまいます。

②声をかけた後、軽く肩等を叩くと、気づきやすいです。

③腕を引っ張ったり、ハーネスをつかんたりは、絶対にしないでください。

※驚いたり、バランスを崩したりしてしまうことがあるため、大変危険です。

Step2

お手伝いの内容を 聞きましょう！

お手伝いをお願いは
まさに10人10色！



その時の状況によって、お手伝いしてほしい内容は、皆さんそれぞれ違います。例えば駅のホームひとつとっても、改札までの誘導なのか、階段の場所を知りたいのか、電車が来たら教えてほしいのか。もしかししたら、お手洗いの場所を探しているのかもしれない。声をかけて頂いたら、盲導犬ユーザーが何をお願いしたいのかをまず最初に聞いてみましょう。

Step3

誘導方法も 本人に聞いてOK



手引きが必要な時は、肘を持ってもらうか、肩に触れてもらうか等、誘導方法を直接盲導犬ユーザーに聞いても失礼ではありません。又「もう少しゆっくり(速く)歩きましょうか？」等と確認することが、安全な誘導に繋がります。

Step4

お手伝いが 終わった時



目的地までの誘導等、お手伝いが終わったあとは、黙ってその場を去るのではなく「**ではここで失礼します**」の一言をお願いします。盲導犬ユーザーは、皆さんの温かい気持ちに対して、お別れをする前にきちんと感謝の気持ちを伝えたいと思っています。

番外編

もしお手伝いを断られたとしても

普段から通い慣れた道だったり、とても急いでいたり、時にはお手伝いの必要がない場合もあります。もしお手伝いを断られても、「大丈夫ならよかった、お氣をつけて」と見守って、引き続き声かけの気持ちを持って頂けると、とても嬉しいですよ。



どこまでお手伝いすればよいの？

声かけはしたいけど、急いでいるから誘導はできないかも。土地勘の無い場所だから道案内に自信がない等、声かけをして頂く皆さまにも様々な事情があります。そんな時は無理をせず、盲導犬ユーザーに**今自分ができるお手伝いの範囲**を伝えていただければ、大丈夫です。

最後まで読んでくれて
サンキューだよ

